

親子の笑顔を増やす
かごしま家庭教育 ナビ

<令和6年度更新版>



かごしま家庭教育ナビ



鹿児島県教育委員会



ページ

1	はじめに	
(1)	「こども」とは	1
(2)	「家庭」とは	1
2	家庭教育の必要性	2
3	こどもの成長「この時期は…」	
(1)	乳・幼児前期（0～3歳）	3
(2)	乳・幼児後期（4～6歳）	4
(3)	小学校前期（7～9歳）	5
(4)	小学校後期（10～12歳）	6
(5)	中学校期（13～15歳）	7
(6)	高校期（16～18歳）	8
4	もうすぐ小学校入学	9
5	家庭で育みたい大切なこと	
(1)	生活リズムを整えよう	10
(2)	家庭学習の習慣を身に付けよう	11
(3)	読書に親しもう	12
(4)	ほめ方、叱り方	13
(5)	こどものサインは心のSOS	14
(6)	みんなが笑顔で過ごすために	15
(7)	ネット・スマホ等と上手に付き合う力	17
(8)	豊かな心を育てよう	19
(9)	自信をもたせよう	20
(10)	遊びと自然体験を	21
6	保護者の学ぶ場	
(1)	鹿児島県内地域子育て支援拠点	22
(2)	こども食堂、放課後児童クラブ、放課後子供教室	22
(3)	P T A、家庭教育学級、おやじの会、読書ボランティア	23
7	相談機関	24
8	かごしまの教え	25
9	その他（参考資料）	26
10	鹿児島県家庭教育支援条例	27

☆ 本資料内では、こども基本法の基本理念を踏まえ、特別な場合を除き、平仮名表記の「こども」としています。

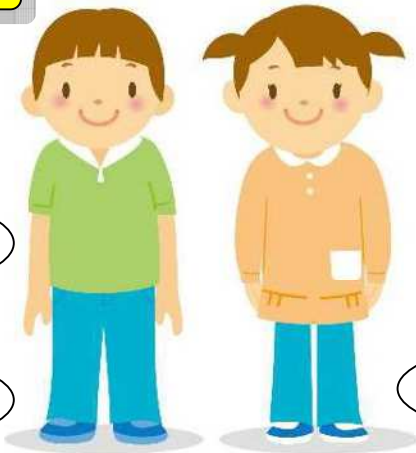
Ⅰ はじめに

(1) 「こども」とは

安心したい

満たされたい

関わってみたい



認められたい

遊びたい

ほめられたい

こどもたちは、家庭は「家族みんなが、楽しく過ごす場所」であることを望んでいます。

『こどもまんなか社会』

こども基本法、子どもの権利条約のもと、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることを目指しています。

さらに、こどもは生まれながらに権利や様々な思いや願いをもっています。それを汲み取り、こどもにとって何が一番よいのかを考え、こどもの主体性を尊重することが大切です。



(2) 「家庭」とは

- こどもたちにとって安らぎのある楽しい居場所
- 社会へ巣立っていくために欠かせない場所



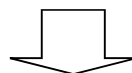
親（保護者）の**笑顔**が
こどもの**笑顔**をつくれます

「家庭教育」とは

- 基本的な生活習慣・生活能力
- 豊かな情操
- 社会的なマナー
- 人に対する信頼感
- 自立心・自制心
- 基本的倫理観（他人に対する思いやり，善悪の判断）を身に付ける上で，重要な役割を担っています。



さらに，人生を切り拓いていく上で欠くことのできない職業観・人生観・想像力・企画力等が培われる基礎となるところです。



すべての教育の出発点

家庭は，こどもたちが最も身近に接する社会です。しかし，こどもは家庭の中だけで育つものではありません。学校や地域の様々な人たちと関わり，見守られながら成長していきます。親（保護者）が，安心して子育てや家庭教育ができるよう，社会全体で家庭教育を考え，支援していくことが大切です。

家庭教育は，これからの未来を支えるこどもたちへの大切なおくりものです。地域全体で家庭教育を応援し，こどもたちの未来を育んでいきましょう。



家庭教育支援とは

「家庭教育」

- ・ 家庭内で行われる教育的行為
- ・ 一生涯にわたり，発達段階・年齢などに応じ，自らの資質向上のために継続的に学習する「生涯学習」の一つ
- ・ 親（保護者）等がこどもに対して施すもの

「家庭教育支援」

家庭教育を「支援」ということであり，対象は親（保護者）になる
子育て＝自分育て＝親（保護者）自分自身の学びを支援すること

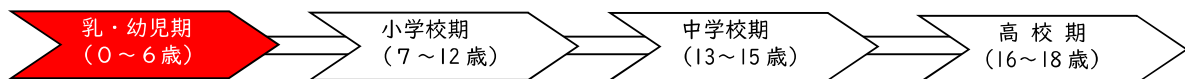
子育て支援とは

親（保護者）がこどもを育てるために必要な支援や教育能力を行政等社会全体で財政的・教育的・福祉的に支援すること

「子育て支援」

- ・ 主に乳幼児をもつ親（保護者）を対象
- ・ 子育て支援サービスが中心
- ・ こどもに直接的な支援（いじめ・引きこもり等の課題からこどもを保護する支援等）

3 こどもの成長「この時期は・・・」



(1) 乳・幼児前期 (0～3歳) ＜胎児期も含めて＞

乳・幼児前期の保護者に向けて応援メッセージ

親（保護者）だけで、赤ちゃんの要望を全てかなえるのはとても大変です。周囲のお手伝いをもらいながら、ストレス発散やリラックスできる時間を確保できるといいですね。周囲に手伝ってくれる人がいない方は、「6 保護者の学ぶ場」をご覧ください。

子育て・家庭教育は、胎児期から始まっています。この時期は、家族のふれあいを通して、愛情に支えられた豊かな人間性・社会性を育むことが大切です。

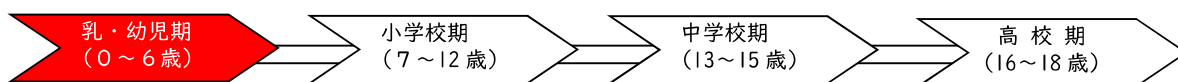
安心できる親子関係の構築

- 無条件に自分を愛し保護する存在として、親を信頼する。
- 周囲への好奇心が芽生える。
- 少しずつ親から離れ、他者と関わる。
- 基本的生活習慣の基礎が身に付く。

保護者の関わりは？

- ☆ 妊娠中は、お腹をさわりながら赤ちゃんに話しかけるのもオススメです。
- ☆ 1歳くらいまでは、赤ちゃんの望んだことはすべてかなえてあげても、それは甘やかすことにはなりません。
 - ・ 十分なスキンシップ（おんぶ、抱っこ、頬ずり等）を取りましょう。
 - ・ 親（保護者）が、こどもの顔を見て温かく見守りましょう。
- ☆ 身の回りのことをこども自身がやり遂げることができる実感を体得させましょう。
 - ・ 生活リズム（早寝早起き朝ごはん）をつくり、体を動かしましょう。
 - ・ 一人でトイレができるようにしましょう。
 - ・ 上手に叱り、具体的にほめましょう。
- ☆ 親（保護者）としてこどもと一緒に育っていきましょう。
 - ・ ゆったりとした気持ちで、スキンシップを十分とり乳幼児期の子育てを楽しみましょう。
 - ・ 市町村での健康診査を必ず受診し、医師・保健師・助産師さんなどに相談しましょう。（1歳6か月児，3歳児健診は必ず受診を）
- ☆ 2歳までは、スマホ・ネット等はできるだけ控えましょう。
 - ・ 目の発達に配慮し、1回の視聴時間はできるだけ短くすることをオススメします。

（※ ベネッセ教育総合研究所サイト「小さな子どもとメディアより」を参考）



(2) 乳・幼児後期（4～6歳）

乳・幼児後期の保護者に向けて応援メッセージ

できることもたくさん増えてきたのでは？でも、戸惑うこともありますよね。そんな時は、園の先生等に相談しましょう。（発育・発達、療育について）

この時期は、遊びや生活の中でほめたり認めたりしながら、社会性を育むことが大切です。

自発性に芽生える

- 集団遊びができるようになり、対人関係能力や秩序感覚が身に付き始める。
- 善悪の判断基準が形成され始めるとともに、良心が芽生える。
- 対人関係が保たれるようになり、他者への思いやりをもつことができる。
- 自然や生き物に興味をもつようになる。
- 基本的な生活習慣が身に付いてくる。

保護者の関わりは？

- ☆ 社会的なルールを身に付けさせるための基本的なしつけをしましょう。
 - ・ 家庭、社会のルールを教え、守らせる。
 - ・ あいさつ、お手伝い、片付け等を親子で実践する。
 - ・ 小学校入学に向けて、生活のリズムを整える。
- ☆ やる気を育てましょう。
 - ・ 親（保護者）が手本を示す。 ・ 笑顔でほめる、認める。
- ☆ こどもの自発性を伸ばしましょう。
 - ・ 「自分でする」習慣を身に付けさせる。 ・ こどもの話を十分に聞く。
- ☆ 親（保護者）もネット・スマホ等の安全性について知りましょう。
 - ・ こどもの写真や動画をSNSにアップするときは注意が必要です。（犯罪被害防止、個人情報や肖像権について）

（※ こども家庭庁 スマホ・ネットのある時代の子育て 乳幼児編より）

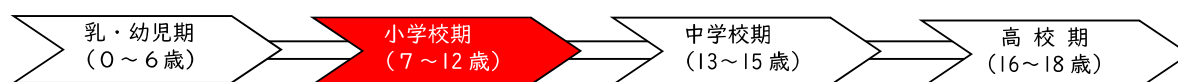
幼児期の終わりまでに育って欲しい姿

- | | | |
|----------------|------------------------|-----------|
| ① 健康な心と体 | ② 自立心 | ③ 協同性 |
| ④ 道徳性・規範意識の芽生え | ⑤ 社会生活との関わり | ⑥ 思考力の芽生え |
| ⑦ 自然との関わり・生命尊重 | ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 | |
| ⑨ 言葉による伝え合い | ⑩ 豊かな感性と表現 | |



「一人一人のよさを未来へつなぐ-学校教育のはじまりとしての幼稚園教育-」より（文部科学省HP）

3 こどもの成長「この時期は・・・」



(3) 小学校前期 (7～9歳)

小学校前期の保護者に向けて応援メッセージ

こどものこと、家庭のこと、一人でがんばりすぎて疲れていませんか？親（保護者）の一生懸命な気持ちに、こどもは気付きます。完璧を求めず、できる範囲で大丈夫！

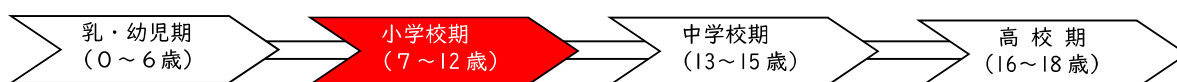
この時期は、知・徳・体のバランスのとれたしつけが大切です。

「自律」の心の芽生え

- 集団の中で、役割を決めて遊ぶことができる。
- 他者に対し共感し、我慢や分け合い、交代などができる。
- 善悪の判断や規範意識が育つ大切な時期です。
- 身辺自立ができる。
- 自然や生命を慈しむことができる。

保護者の関わりは？

- ☆ **積極的に運動や学習に取り組めるよう、生活リズムを整えましょう。**
 - ・ 「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムを確立する。
 - ・ 家庭学習の習慣を確立させるための声かけ、見届けを行う。
- ☆ **規範意識が育つ大切な時期であることを自覚しましょう。**
 - ・ 様々な体験や活動に挑戦させ、認める、ほめる。
 - ・ その時の親（保護者）の感情によって、こどもへの対応を変えない。
 - ・ あいさつ、お手伝いなど、親子で小さな実践を積み重ねる。
- ☆ **こども同士のトラブルに冷静に対応しましょう。**
 - ・ いつでも相談できる学校等との関係作りに心がける。
 - ・ 保護者の判断でこどもの人間関係をコントロールしない。
- ☆ **ネット・スマホ等のルールを作ろう。**
 - ・ 家庭でのネット・スマホのルールは、親子で作しましょう。ルールが守れなかったり、生活習慣が変わったりするタイミングで、ルールの見直しをすることも大切です。（※ こども家庭庁 スマホ・ネットのある時代の子育て 児童・生徒編より）



(4) 小学校後期（10～12歳）

小学校後期の保護者に向けて応援メッセージ

学校行事や習い事で、土曜日でも日曜日でも休みなし、ということもあるかと思います。しかし、休養、息抜きはとても大切です。おいしいものを食べたり、自分の好きなことをしたりして、ストレス緩和を心掛けて！

この時期は、一方的な要求や叱責ではなく、こどもとの対話を大切にして、こどもが他者との関係の中で自分の存在を認められるように支援することが大切です。

他者意識の芽生え

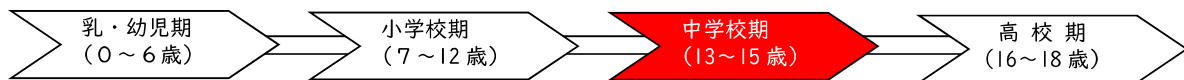
- 他者との関係の中で、自分のことを考えたり、他者への接し方を考えたりするようになる。
- 他者との関係の中で、善悪の判断がつく。
- 自分の感情や欲求を抑えることができる。
- トラブルを解決しようとすることができる。
- 失敗から学ぶことができる。
- 集団の中で、自分の役割を意識し、責任を果たそうとする。

保護者の関わりは？

- ☆ こどもと周りの友達との関係を支えましょう。
 - ・ こどもの人間関係を把握する。 ・ 金銭やものを与えすぎない。
 - ・ 地域行事や体験活動にこどもと一緒に積極的に参加する。
 - ・ こどもが失敗したり悩んだりしているときは、よき相談相手となる。
- ☆ こどもの自己有用感（自分が必要とされていると感じる気持ち）を育てましょう。
 - ・ 家族の一員としての役割をもたせることで「自分は家族の中で、なくてはならない大切な存在である」と感じさせる。
 - ・ 学習やお手伝いなど様々な経験を積ませることで「自分は自分なりにやっ
ていける力がある」と感じさせる。
- ☆ スマホ等購入の際は、必ずフィルタリングを設定し、どのアプリをどれくらい使っているかを親子で一緒に確認しましょう。

（※ こども家庭庁 スマホ・ネットのある時代の子育て 児童・生徒編より）

3 こどもの成長「この時期は・・・」



(5) 中学校期 (13～15歳)

中学校期の保護者に向けて応援メッセージ

こどもが急に成長し、心配なこともあるかと思います。でも、こどもは、親（保護者）と少し距離を置いて客観的に見るようになってきます。見守り、寄り添う気持ちで・・・

この時期は、思春期に入り、学校や友達関係等いろいろなことに悩み、葛藤することによって、家庭が精神的な安らぎの場となるよう、温かく見守り、適宜助言をすることが大切です。

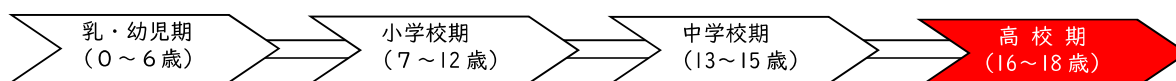
自分らしさの気付き

- 自分のよさを実感したり自分の短所を自覚したりする。
- いろいろなことが刺激になり、情緒不安定になりやすい。
- 他者との関係の中で自他の違いを認め、自分の特性に気付く。
- 仲間意識が強くなり、特定の友達と深い人間関係を築く。
- 異性との望ましい関係を学び始める。
- 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営むことができる。
- 公共を意識して、自分の行動を抑制できる。
- 法やきまりの意義を理解し、公德心をもつ。

保護者の関わりは？

- ☆ こどもの人格を認め、接するようにしましょう。
 - ・ 思春期の心と体について理解する。
 - ・ 性や生命についてこどもと語る。
- ☆ 自己肯定感（自分のことが好き、自分は生きている価値があるという気持ち）を育てましょう。
 - ・ 他者との比較ではなく、こどものよいところを具体的にほめる。
 - ・ 「自分は大切な存在である」と実感できる機会をつくる。
- ☆ 将来の夢や自己実現に向けて働きかけましょう。
 - ・ 失敗しても自分でさせる、また挑戦することができるよう日頃から会話を増やし、親子の絆を深める。
- ☆ スマホ・ネット等から、プライバシーを守ることは、生命の安全につながります。
 - ・ セキュリティ設定を活用し、個人情報の漏洩に気を付ける。

(※ こども家庭庁 ICT社会へ送り出す前のサポートをするために♥ 保護者がおさえておきたい4つのポイント 生徒編より)



(6) 高校期（16～18歳）

高校期の保護者に向けて応援メッセージ

高校生はある程度「大人」です。高校生活は、親（保護者）や家族から離れて、自分で考えて行動することが多いです。しかし、時には失敗や挫折を経験します。その時は人生の先輩として、よき相談相手となって！

この時期は、こどもを一個人として信じ見守るとともに、人としての生き方を語り合いながら、社会人としての自立を支援することが大切です。

自分の個性への誇り

- 思春期の混乱から脱却し、大人の社会を展望しながら生きる課題を真剣に模索し始める。
- 親（保護者）から心理的に離れ、自分を客観的に見つめ、自立する。（親離れ）
- 家族や周囲との関係の中で、自分のあり方を決める。
- 自分らしさを見据えながら将来を描き始める。
- 社会人となることや親（保護者）となることをイメージし始める。

保護者の関わりは？

- ☆ **自立に向けての助言を心掛けましょう。**
 - ・ 親（保護者）の生き方を語る。
 - ・ こどもに願う生き方を伝える。
 - ・ こどもの考えを受け止めながら語り合う。
- ☆ **自立した一個人として接しましょう。**
 - ・ こどもを信頼する。
 - ・ こどものよいところを言葉で伝えるなど、愛情を伝え続ける。
- ☆ **18歳成人であることの自覚をもたせましょう。**
 - ・ 選挙権や自分で契約（クレジットカード、婚姻等）ができることを自覚させましょう。（主権者教育・消費者教育）
- ☆ **自分の力でコントロールできる18歳に向けた準備をしましょう。**
 - ・ ネットトラブルに巻き込まれたときの相談窓口の確認をする。

（※ こども家庭庁 ICT社会へ送り出す前のサポートをするために♥ 保護者がおさえておきたい4つのポイント 生徒編より）

4 もうすぐ小学校入学

小学校生活を親子で一緒に楽しみましょう！

学校によって、内容に違いがありますが、入学式直後は、保育所や幼稚園の生活との差が少なくなるような工夫がなされています。

【小学校入学1週間の時間割（例）】 ※ 学校によって異なります。



	4月6日 月	4月7日 火	4月8日 水	4月9日 木	4月10日 金
朝の活動		荷物の片付け・読み聞かせ	読み聞かせ	荷物の片付け・読み聞かせ	読み聞かせ
1	学活 元気にあいさつ	学活・生活 どうぞよろしく	国語 自分の名前を書こう	国語・図工 えんぴつとなかよし、 かきたいものなあに	国語 おはなしたのしいな
2	行事 入学式	学活・生活 学校のことを知ろう	算数・図工 なかまあつめ	体育 校庭をたんけんし よう	算数 10までのかず
3	学活 学校について	学活 トイレの使い方	音楽 校歌を歌おう	道徳 学校だいすき	国語・生活 どうぞよろしく
4	11:45下校	学活 楽しい給食	生活 学校たんけんをし よう	生活 学校のせいかつ	生活 安全に気をつけて
給食			8日から給食がはじまります。		
昼休み					
下校時刻	11:45	12:30	13:30	13:30	13:30

☆ 入学後一週間は、45分の教科指導ではなく、関連した学習内容を15分から20分程度で組み合わせて行うこともあります。

☆ 日報や週報、連絡帳、電話等で家庭や児童クラブ等と連携を密にしています。

◇ 小学校には、たくさんの行事等があります。親子で一緒に思い出を作りましょう。

入学式

学校に入学することが決まり、そのお祝いのための明るく和やかな儀式的行事です。在校生、学級担任の先生はもちろん、たくさんの先生が新一年生を温かく迎えてくださいます。

親子で、これまでの成長やこれからの学校生活の希望を話し合しましょう。



学校周辺や通学路の確認

入学前に、自宅から学校まで通学路と一緒に歩いてみましょう。

天気の良い日や雨の日の傘をさして、通学路の横断報道の渡り方や危険な場所がないかを確認し、また、その対応について親子で話し合しましょう。

子ども110番の家も確認しましょう。

学校行事

学習の成果を発表する行事があります。運動会は、観覧の場所が決まっています。

遠足や修学旅行等宿泊を伴う行事もあります。説明会もあるので、参加について確認しましょう。

行事は、週報やプログラム、年間行事予定で確認しましょう。

学校からの配布物

学校が始まると、こどもが配布物を持って帰ってきます。その中には週報や行事のお知らせ等、大切なものも含まれています。プリントつづりやファイルを確認しましょう。

また、親子で学校からの配布物を置く場所や学校へ持って行く学用品等を置く場所を決めておきましょう。

<入学予定の学校の教育活動を知るために・・・>

毎年11月1日から7日前後「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」です。県内の各学校で特色ある活動が行われていますので、是非お出かけください。